

# 市長の深い話



深谷市長 小島 進

## みんなで応援しましょう

広報ふかや2月号や市ホームページでもお知らせしました通り、ソチパラリンピックの日本代表に深谷市在住の阿部敏弘さん、村岡桃佳さんのお二人が選出されました。

冬季パラリンピック日本代表の選手は全20人ですが、そのうち2人が深谷からの出場です。これは本当にすごいことです。深谷の誇りです。

阿部さんは、高校生の時に自転車で転倒し、頸髄損傷による右上肢機能障害となりました。しかしながら、子どもの頃から大好きだったスキーを続け、今回がなん

と5回目のパラリンピック出場となります。

村岡さんは、4歳の時に横断性脊髄炎を患い、下半身の感覚がなくなり、車いすでの生活となりました。チエアスキーを本格的に始めてわずか2年ほどでつかんだ今回のソチへの切符です。

先日、表敬訪問のため市役所にお越しください、お二人にお会いしてお話をさせていただく機会がありました。「ソチではぜひ頑張ってください」と激励の言葉を掛けるところ、「悔いのないよう、全力を尽くして頑張ってきます」との力強いお言葉をいただきました。

ソチパラリンピックは今月の7日から開幕します。お二人には体調に十分留意していただき、全力を尽くしていただければと思います。

## ソチパラリンピック・アルペンスキー日本代表 阿部さん、村岡さんからのメッセージ

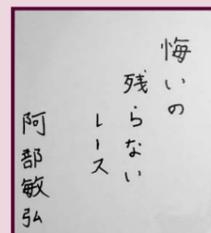
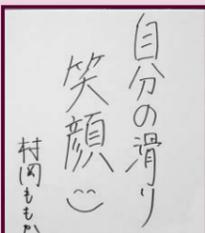
深谷市在住で、ソチパラリンピック・アルペンスキー日本代表選手 阿部敏弘さんと村岡桃佳さんが、1月23日に深谷市役所へ表敬訪問し、パラリンピック出場の意気込みを語りました。そして、お二人から皆さんへメッセージをいただきましたので紹介します。

問い合わせ 秘書課 (☎574-6631)

阿部敏弘さん  
(日本身体障害者スキー協会)  
競技：アルペンスキー (立位)



村岡桃佳さん  
(正智深谷高校2年)  
競技：アルペンスキー (座位)



## 阿部さん、村岡さんからのメッセージ

『パラリンピック出場』という夢のために今まで頑張ってきました。その夢が実現しとても嬉しく思うとともに、これがゴールではなく新たなスタートラインだと感じています。日本代表の名に恥じないよう、また、見ている人に勇気を与えられる滑りが出来るよう、精一杯頑張ります。

パラリンピック出場5回目、初めてパラリンピックに出場してから22年がたちますが、これまで応援、協力してきてくれた人達に感謝し、今まで培ってきた経験や技術の集大成となる大会としたいです。

### ありがとうの手紙

Letter

優秀賞 一般の部  
がんばってくれる主人へ

中瀬 川田 竹子さん

お勝手は女のお城。入ってはならぬと言う母に従い五十年。その母が今年の四月に逝き、七月には私が骨折。包丁等持った事が無かった貴方、食事は仕出し業者に頼ると思ったのに、俺が作ると言ってくれましたね。野菜は乱切りで味は薄めですが、貴方が用意してくれる食事は、とってもおいしいです。ありがとう。他にも掃除、洗濯、医者への送迎等、たくさん、たくさん、ありがとう。治ったら精一杯つくします。二度と怪我をしないように気をつけながら。

### みんなの声 BOX

Q 深谷市のホームページは、他市のものに比べて古く、使いづらい気がします。見直す予定はありますか。

A 3月から、見やすく使いやすいホームページリニューアルします。ぜひご活用ください。

ホームページリニューアル後に、YahooやGoogleなどの検索サイトが新しいページを認識するまでに、2~3週間ほどかかると予想されるため、その間はページが見つかりにくい場合があります。また、現在トップページ以外のページを「お気に入り」や「ブックマーク」登録している場合は、再度登録が必要です。

問い合わせ 秘書課 (☎574-6631)

### シリーズ 考えよう 公共施設のつとめ ⑥

公共施設に限らず、建物はとかく建設費に目を奪われがちですが、建物の生涯費用であるライフサイクルコスト(LCC)のうち、当初の建設費は全体の20%前後といわれています(左下図参照)。

では、残りは何かといえます。建物で使用する光熱水費、設備の保守や清掃・警備などの管理業務費、経年劣化などに伴う修繕・改修費といった、維持管理費が残りの80%程度を占めています。つまり、建物の維持管理をいかに計画的に行うかによって、LCCに大きな差が出てくるため、ライフサイクル全体を見据えたコスト低減を図っていくことが重要といえます。

公共施設の多くが老朽化を迎えている中、市民サービスの持続的な提供

建設費は、「氷山の一角」です

建設費 (氷山の一角)  
 運営費 (光熱水費)  
 一般管理費 その他  
 保全費 (保守・管理)  
 修繕費 改修費

と財政健全化を両立させていくためには、市が担い、提供すべきサービスを慎重に調査・分析し、計画に基づいた公共施設保有量のスリム化を図っていくことが不可欠です。そして、今後も維持していく施設については計画的な保全(予防保全)を行い、施設の長寿命化を図っていくことが、今後の対応として極めて重要となります。

問い合わせ 企画課 (☎574-8009)

\* 建物の設計・建設から、運営後の維持・修繕、最終的に解体されるまでにかかる経費のこと